

## 《薬局サーベイランスコメント》

『インフルエンザの推定患者数は2週連続して大幅に増加。全国的な流行モードに入る』

### 薬 局 サ ー ベ イ ラ ン ス

(<http://prescription.orca.med.or.jp/syndromic/kanijyasukei/index.html>)からの2019年第47週(11月18日~24日)のインフルエンザの1週間当たりの推定患者数は約109,000であり、第43週以降5週連続して増加が続いています。また、第46週、第47週と2週連続して前週の推定患者数(第45週:約33,000、第46週:約61,000)を大幅に上回る増加が続いており、これまで局地的であったインフルエンザの流行は、全国的な流行に移行したと考えられます(図1)。また、休日明けの第48週の月曜日(11月25日)の1日当たりの推定患者数は約43,000と今シーズンの最多(約21,000)を大きく更新しています。

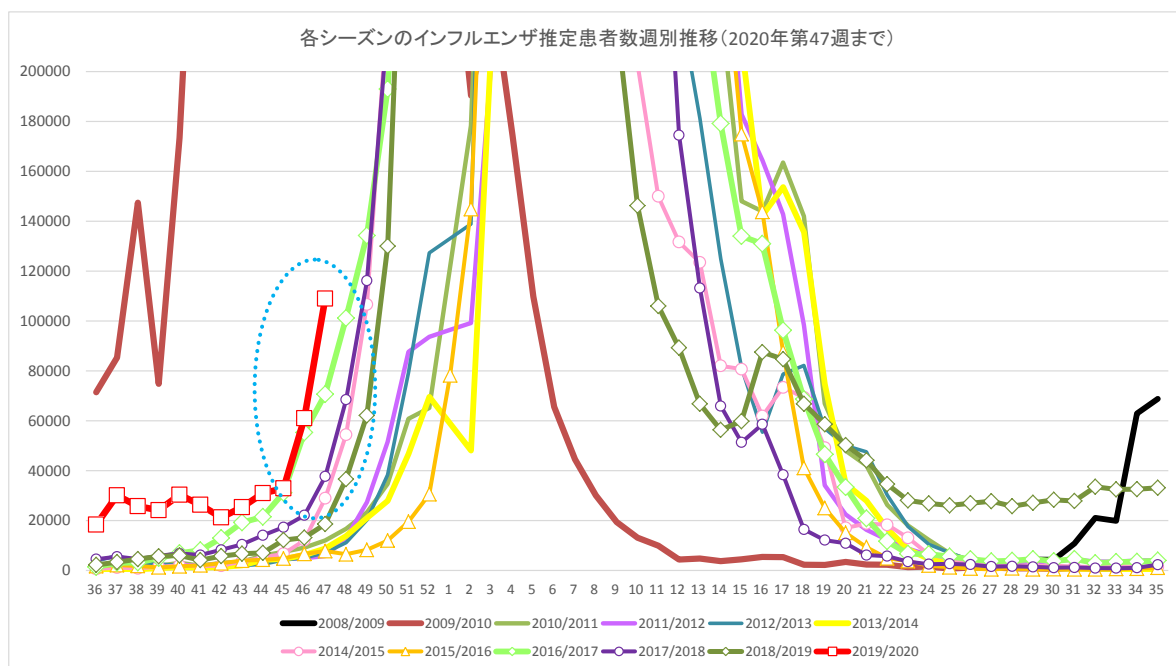


図1. 過去11シーズンと今シーズン(2019/2020年シーズン)の第36~第47週までのインフルエンザ推定患者数の週別推移

2019年第36週から第4週までの累積の推定患者数は約435,000であり、年齢群別では5~9歳(21.9%)、10~14歳(15.2%)、40~49歳(13.4%)、0~4歳(12.7%)、30~39歳(11.4%)の順となっていて小児の罹患者の割合が増加しつつあります(図2)。

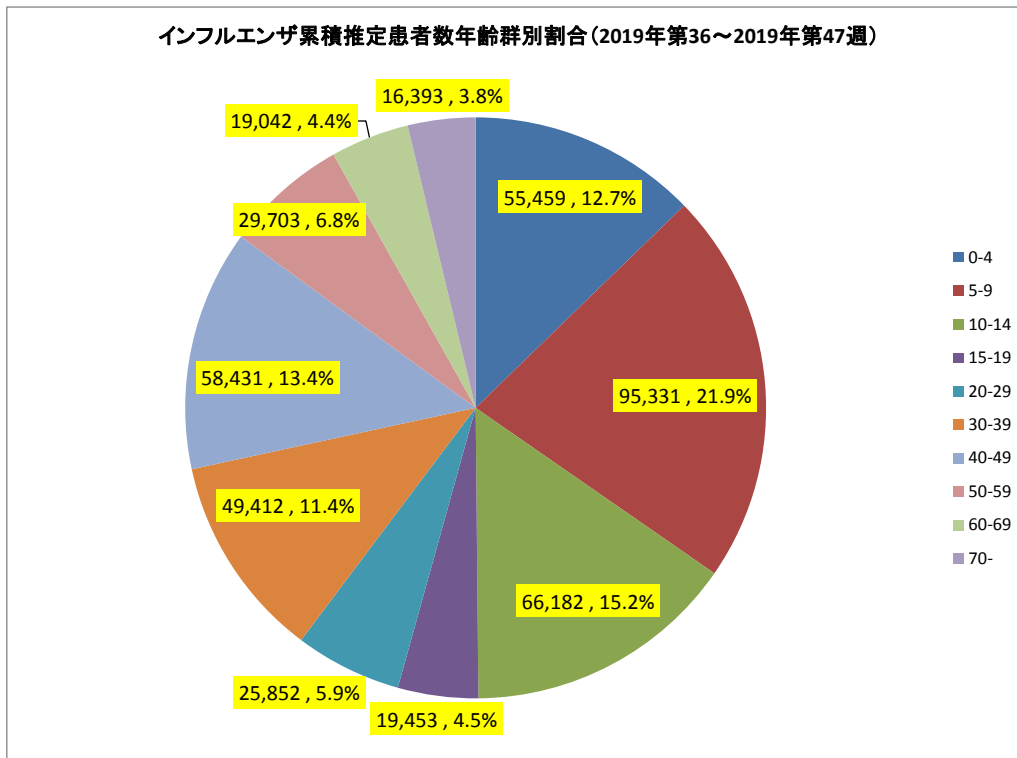


図 2. インフルエンザ累積推定患者数年齢群別割合（2019 年第 36～2018 年第 47 週、累積推定患者数=約 435,000）

国立感染症研究所感染症疫学センターの病原微生物情報 (<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr.html>) によると、今シーズンこれまでのインフルエンザ患者由来検体から検出されたインフルエンザウイルス(433 検体解析)は、A/H1pdm が 88.5%と多く、次いで A/H3 (A 香港) 亜型 6.0%、B 型 5.5%の順となっています。

インフルエンザの推定患者数は第 46 週、第 47 週と大幅な増加が続いており、インフルエンザは全国的な流行モードに入ったと考えられます。インフルエンザの患者発生の動向については注意が必要です。

2019 年 11 月 26 日  
 済生会中津病院感染管理室  
 安井 良則